

2025年4月27日
4月第四主日礼拝式



「主の喜びが心にあれば」

(詩篇31:11)

主の喜びが 心にあれば

主の喜びが 心にあれば

悲しみは 笑いに

苦しみは 喜びに

嘆(なげ)きは 踊(おど)りに

すぐにかわる

101 主イエスの聖名

主イエスのみなは 天と地であがめられ
せいなる せいなる 主よ
わたしは あなたを ほめたたえる
主イエスのみなは 天と地であがめられ
せいなる せいなる 主は
むかいましたし つねにいまし
やがて来られるかたです

新聖歌27番 「来る朝ごとに」

- 1 来る朝ごとに 朝日と共に 神の光を 心に受けて
愛のみむねを 新たに悟る
- 2 来る朝ごとに罪を聖むる 恵みのつゆは天より下り
神の幸(さち)をぞ 新たに添(そ)うる
- 3 来る朝ごとに業と言葉を 聖めわかちて神に献げば
ささぐる宝 いや増したまわん
- 4 来る朝ごとに とるわが努め 人を愛して己に勝たば
神に近づく 道とこそなれ
- 5 来る朝ごとに祈れるごとく 歩み正しくまさみち進み
きよき休みに 入(い)らしめたまえ アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌142番 「イエス君(きみ)の御名に」

1 イエス君(きみ)のみなに まさる名はなし
み神の御心(みこころ) 世(よ)にあらわせり

* わが君(きみ) イエスよと 喜び歌う

とうとき御名(みな)こそ 比(たぐ)いもなけれ

2 いと高き神の み子にいませど
世を救うゆえに イエスとは呼びぬ *くりかえし

3 救いの十字架に 掲(かか)げし御名を
よろずの国民(くにたみ) 今なお愛す *くりかえし

4 父なる御神の 右にのぼりて
御代(みよ)しらすイエスの みいつかしこし *くりかえし

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお 御神(みかみ)に

ときわに 絶(た)えせず

御栄(みさか)え あれ

御栄(みさか)え あれ

アーメン